

特集／神戸とウォーターフロント(5)

親水性のある町 神戸のウォーターフロント

神戸のウォーターフロント開発では、神戸ハーバーランドの他、すでに完成したメリケンパーク、一部住宅の入居が始った六甲アイランド、さらに第二期工事が予定されているポートアイランドがある。ここでは、六甲アイランドとメリケンパークの現状を紹介しよう。

六甲アイランド

ポートアイランドにつづいて神戸市が造成を進めている第二の人工島が六甲アイランドである。

造成面積五八〇ヘクタール。甲子園球場の一四五倍である。昭和四七年度に造成に着手し、一部はすでに稼働、現在六五年度の完成を目指して建設が進められている。

総事業費として、造成費五四〇億円、施設建設に七千億円、合計一兆二四〇億円が注ぎ込まれる。将来的には八千世帯、人口三万人が貼りつき、国際情報都市を推進する一大拠点となることが期待されている。

核となる都市機能ゾーンの整備

に際しては、民間の自由な発想を生かす為に民間企業による事業コンペ方式がとられた。住友信託銀行、積水ハウス、アーバンライフなどの十社連合が第一次事業コンペに当選している。

都市機能ゾーンは、(一)業務・商業ゾーン(二)文化・レクリエーション



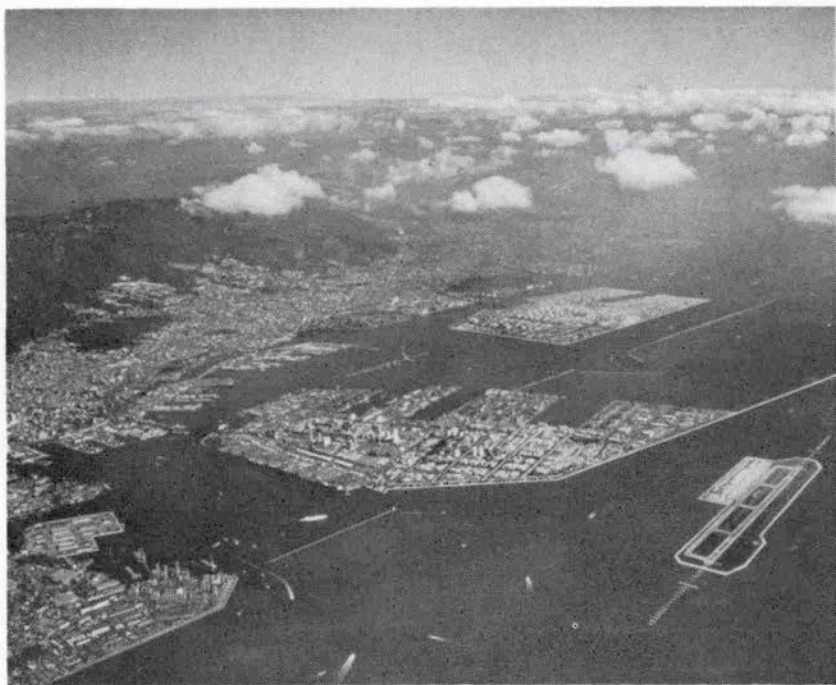
市民の憩いの場・メリケンパーク

メリケンパーク

ンゾーン(三)住宅ゾーンに分けられる。(一)には昭和六十二年、国際的ファッショ流通市場(六甲アイランドマーケットセンター)を建設する計画が決まった。アジアでのファッショビジネスの一大拠点になることが期待されている。(二)は四季を通じて全ての人が楽しめるゾーンとなり(三)は良好な環境を備えた住宅地区を形成する。

神戸港のシンボル「ポートタワー」(四国・九州への内航旅客ターミナル中突堤、神戸港発祥の地メリケン波止場。古くから親しまれてきたこの一帯と既設埠頭等を埋め立てウォーターフロント緑地として再開発整備したのがメリケンパークである。「ポートルネッサンス」構想の一環でもあり、基本テーマは「ミナト神戸の再発見を目指して」である。

(一)海との出会い(二)歴史・文化との触れ合い(三)都市生活への貢献を目指し港や船のロマンを発見するのが基本理念である。



「未来」のウォーターフロント。左下・ハーバーランド、中・第2期工事完成後のポートアイランド、右上・六甲アイランド。沖には空港も見える（完成予想図から）。

その経緯としては、昭和五二年

一二月神戸港再開発計画検討委員会発足、五三年七月中突堤地区再開発基本構想がまとまる。五五年八月中突堤緑地工事着手、五八年三月中突堤・メリケン波止場間の水域約一〇・六ヘクタール埋め立て工事着手、五九年三月埋め立て完了、六二年二月オープン。六四年六月には、客室四九一のホテルオーク

ラ神戸がオープンする。

昨年、開港一二〇年を迎えた神戸港が、二一世紀を先取りした神戸港発展の核として位置づけられているのがメリケンパークである。

（一）港の未来像を考え（二）国際港湾都市神戸を内外にアピールし（三）世界に交流の輪をひろげ四海事、海洋思想の普及啓発に努め（四）来年の神戸市政一〇〇周年につなぎ（六）メ

リケンパークを後生に伝える記念碑としようとするものである。この為、特色ある施設を建設整備した。

まず神戸海洋博物館である。昭和六二年四月二九日記念式典を行い開館。基本テーマは「みなとこゝろのインフォメーションセンター、海と船へのいざない」であり、海事に関する総合博物館である。

白亜の鉄筋コンクリート造二階建大屋根鉄筋造り、建築面積七五六四平方メートル。事業費約三五億円。「海・港・船の博物館」として好評である。

多目的ホール・レストハウスはメリケン波止場の上屋を再利用整備したもので食事休憩もできる楽しい催し場となっている。

他にユニークなものとして映画の記念碑などがあり、市民が海に親しめる格好の場所となっている。

神戸沖空港

最後に触れておかねばならぬのは神戸沖空港であろう。これはポートアイランド沖合いに予定されている海上空港であり、国内線が就航する二千米滑走路を一本もつ兵庫県内のコミュニティー航空の母港としての役割も期待されている。

話題のひろば

<I>

■ウオーターフロントセミナー開催

都市の活性化を “水際”開発で

ウオーターフロントが全国的に注目を浴びているが、三月十八日、神戸商工会議所において「'88流通セミナー」新しい都市文化の創造と魅力あるまちづくり」が開か

れた（主催／神戸商工会議所小売商業部会、後援／兵庫県商工会議所連合会、財団法人中内育英会）このセミナーでは、ウオーターフロントの開発に焦点を当て、商

業という視点から神戸の水際と商業開発のあり方を探るところに担いがおかれ、主として若手経営者が対象とされた。

上島達司神商議小売商業部会長の挨拶のあと、今春開校の流通科学大学の理事長でもある中内功樹（ダイエー会長兼社長が「若手小売業者に期待する」と題してスピーチ。そのあと、今秋完成の神戸オリエンタル劇場でNINGAWA・忠臣蔵を上演する演出家の蛭川幸雄氏が講演、午後からウオーターフロント問題へと移った。まず窪田陽一埼玉大学工学部助教授が「水辺の劇場化とウオーターフロント開発を考える」とのテーマで自前のウオーターフロント開発論を展開した。これを受けたかたちで次に地元から森本泰好神戸地下街専務、鶴岡純一東海海運専務、三浦明定北野商業連合会長、小森星児神戸商科大学教授各氏の出席で「新しい神戸の魅力づくりと商業開発」神戸の水際を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

このパネルディスカッションでは、諸外国のウオーターフロント開発の例も出され、水際開発を通して、神戸がいかに魅力ある町づくりを進めればいいのかについて熱っぽい議論が展開され、水際開発の重要さを改めて浮彫りにした



パネルディスカッションでは、熱っぽい議論がつづいた

FASHION INTERVIEW

特集：ファッションインタビュー

apparel & cosmetics

ファッション都市・神戸——この街に漂うファッションナブルな香りは、明治から続くハイカラの伝統の上に成り立っているのかもしれない。単に洋服にとどまることなく生活全体にまで及ぶその姿勢を、神戸のファッションメーカー5社に探ってみた。

FASHION INTERVIEW '88NOW

■株式会社リアル

取締役社長

久保 福造

■インタビュー

白石 弘子 (染色家)



明治27年美人ぬか本舗として化粧品の新製品を製造販売、3代目の現社長は昭和30年に、酵素をはじめ化粧品にとり入れ、肌の健康を考えた酵素洗顔料、酵素パックにはじまる基礎化粧品、植物性顔料の水溶性ファンデーションなどのメイキャップ化粧品を開発。そしてこれらが総合化、システム化され「酵素美容のリアル」として流通、ユーザーから高い評価をうけている。さらにエステティックのための専用化粧品も開発されて、より深く美と感性にかかわる企業として今日に至ったと聞く。

新しいニーズと長い歴史の中で培った開発力や技術力によって、近年は健康食品も製造、常に『商品に心を』のリアルの社は、ひとつひとつの製品に生かされている。業務組織も広く、理容、美容業界、一般業界（写真の商品は一般業界用）訪問、通信販売にわたり、関西以西の300店舗を数えるエステティックサロンで使用されている。本社工場研究室で開発された多くの新製品は活気あふれる業務部の活動でつぎつぎに市場におくり出されている。

『21世紀にむけて、ますます躍進するリアルでありたい』と語る社長に、内面外面からの健康と美に真剣にとりくんでいる会社の姿勢がよく分りました。（白石）

株式会社 リアル

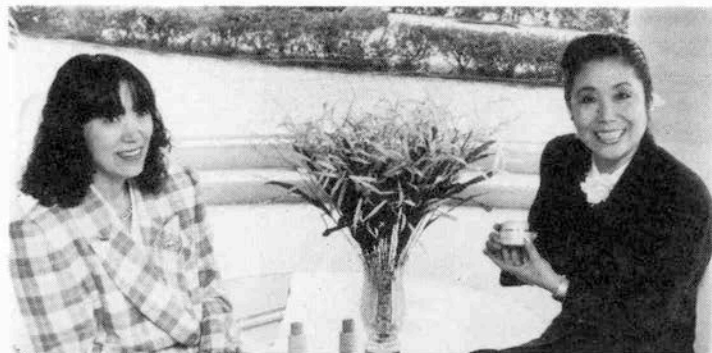
神戸市兵庫区御所通 1-3-18 TEL078-682-1381 (代)

FASHION INTERVIEW '88NOW

■ヌートリメティックス インターナショナル(株)

マーケティングマネージャー
田中 慶子

■インタビュー
デザイナー
石原 曉美



ヌートリメティックス インターナショナル(ジャパン)株式会社
神戸市中央区港島中町2-3-6 TEL. 078・302・0788 (代)

ヌートリション(栄養)・コスメティックス(化粧品)という2つの言葉がユニークな社名の起源となっているヌートリメティックス。その基本理念は“美は体内から創られる”という哲学。

ヒマラヤ山脈の奥ふところ、健康と長寿の村ハンザ地方。その自然環境や人々の食生活からヒントを得て作られた商品は、人間が本来必要とするものを自然な形で提供したいという創立者のポリシーに基づいている。ビタミン・ミネラル補足食品から、健康・栄養・美容、さらにはファッション(健康と機能性重視の下着)にまで分野を拡げ、現在では世界15カ所に支社をもつ国際会社にまで成長している。そして日本でのホームオフィスは、神戸。国際的な知名度・モダンな独自性がヌートリメティックスのイメージにつながっているという。最近の商品の宣伝もテレビ、雑誌にと広がっているが、本質的には使用した人がその良さを自然に伝えるという、人から人へのつながりが中心である。ホームパーティ形式の販売システムや求めやすい価格もその一端であろう。

時代は健康派指向。ハチミツ・ミント・アーモンドの粒々が入った田中さんの手の中のスクラブ(洗顔料)は、すべて天然の成分でできていて食べられるほど!ユニークな製品の中にこの社の自負と化粧品の新しい方向をみた。

FASHION INTERVIEW '88NOW

株式会社 ノエビア

取締役 社長室長
柚木 宏一

インタビューー
ライフコーディネーター
木村多恵子



株式会社 ノエビア

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目13番1

世界の女性を美しく——との願いのもとに自然を科学しながら安全な化粧品作りを行なっているノエビア。早春の一日、ポートアイランドの神戸支社を訪問しました。

同社は NATURE から LIFE SCIENCE へ大きく変わってきました。女性の社会進出のめざましいなかで、フィジカル（肉体的）にも、メンタル（精神的）にも美しくあるためには、化粧品、医薬品、食品をふくめ、生命の美の追求者をかかげます。それは LIFE SCIENCE の高品質な諸製品の細胞レベルまでの研究です。

ノエビア製品は天然原料をベースに植物成分を配合した自然派の基礎化粧品を中心にメイクアップまで、そのポリシーは多くの女性の支持を得て、先発メーカーとは異なった発展を見えています。

さらにソフトウェアとして、同社はカラーシステムを考案しました。さらに美しく願う女性のニーズに応えるものといえます。

ファッション都市にふさわしいオフィスは外界の環境と共存し、広々とシンプルで美しい。ビルの内部は全て禁煙のためかどのフロアもすがすがしい。働く女性達もことのほか美しく、新しい企業のありかたを改めて感じられ楽しいインタビューとなりました。（木村）

FASHION INTERVIEW '88NOW

■株式会社ヴァレン

代表取締役

山本 秀一

■インタビュー

(有)オフィスジュンコ代表取締役

工藤 純子



株式会社ヴァレン
神戸市中央区上筒井通3丁目2-5
TEL 078 (2) 221-1631 (代)

“ファースト・チョイス” “サベ” “アルティサン・サンク” の三ブランドを持つヴァレンは設立11年目の会社。数字だけを眺めると、アパレル業界の成長株、さぞや猛烈型かと思ったが、実際に山本社長にお会いしてみると、それだけではないことがよく分かった。全ての基本は“人”。とにかく、金や物が優先する現代に「人づくり」を開口一番に挙げるなんてスゴイ。「創業時は7名で設立時は11名でした。今も皆、現役ですが、正直言って、皆が皆ファッションに適しているとは言えなかった。でも、それぞれに『ファッションが好き』『人間が好き』。とにかく、ファッションだって人間が創って行くものなんですから。」—にも二にも人づくりと語る山本社長。魚座・AB型のロマンチズムがチラリ。

「この業界にもそれなりの“義理・人情”が必要」とも言う。「会社も一つの家族のようなものです。我が子を成人させるのに20年かかるんですからね、10年経っても、まだまだ…」神戸という土地へのこだわりは特にないが、ヴァレン・ファッションのイメージは紛れもなく“The KOBE”だ。シンプルでいて、しかもハートフルな雰囲気の漂うヴァレン。これからは、30代からの“いい女”に着てもらえる服を作って行きたいとのこと。楽しみにしています。(工藤)

FASHION INTERVIEW '88NOW

■ 株式会社 JUN

関西支店長

山南 敏朗

■インタビューー

服飾デザイナー

村岡 圭



■株式会社JUN関西支店
神戸市中央区港島中町7丁目6番 電話078-302-8412(代)
ROPE, KUP, JUN MENS など数多くのブランドの中から
左の写真は「HIS MISS」の商品

JUN関西支店が大阪から神戸ファッションタウンに移って2年、安藤忠雄さんが設計した迫力のあるオフィスは当時の話題を呼んだ。広々とした空間に流れる快適さ、余裕、これが恐らくJUNという会社を物語っているのだろう。「常に長いスタンスのものを念頭に置き、自然の流れの中でバランス良く確立させること」というイメージングどおりファッションに止まらず、飲食店、ゴルフ場etc.と幅広いプログラムに創立以来30年のキャリアが生かされている。変化の著しいファッションシーンにおいてもそのスピリッツはやはり変わらない。神戸を初め関西にあるショップへ頻繁に足を運び、情報の収集を欠かさない山南支店長は「データ面でも数多くのスタッフより常に先行するポジションでありたい」とのこと。トップのこうした現場主義が「個々のショップのユニークさ、あたたかさ」に通じていく。神戸で2年、「出張等で仲々落ち着く間がないけれど不思議とこの街に戻ると安心する」という温かい言葉に私達は嬉しさを覚える。また、支店の位置するポートアイランドは「居住者が感じる楽しさはまだまだ。総合的アメニティ・スペースを目指していったほしい」と期待を込めた提案。きっと“ディレクターJUN”がリードしていってくれる、そんな頼もしさを支店長の言葉に感じていた。

★マグニチュード7・5

文化の震源地は住宅街にあり

神戸北町、住宅街の真ん中にユニークな建物がある。実はココ、ブティックなのです。ファッション・ライフ・サービスクのマーメジャー荒牧英樹さんは、10年間のアパレルメーカーでの経験を生かして独立。企画を生み出し、毎週のように新しい企画を生み出している。広々とした空間の中でボーカ大会や現代版画展を催したりも。そんな時は、館内台のこのブティックに住宅街からたくさんの人が集まってくるそうだ。そして、2月に



高い天井から太陽が差し込む快適空間

collection's Party at "ISOLDE"



は三宮にあるデイスコ「ガイブル」でファッションショーを中心としたパーティーが開催された。レザ、サウンド、DJ、ファッションが一体となり、TVカメラも入ってエキサイティング。華やかなスペースで若い人はもちろん、年配層も交って楽しいひとときが持たれた。チケットには「ISOLDE」の文字の入ったテレホンカードが使われ、細かい点はオシャレな演出が成されている。さて、次は何が飛び出すやら。ISOLDEのプロデュースに乞うご期待。

■「7」ファッションライフサービス

神戸市北区五葉南3-15 18 078-594-0860

★春爛漫のフロアードリーミング

モノトールの時代に代わって今年はカラフルなフロアードリーミングが主役。先頃、神戸オリエンタルホテルで開かれた西田武生「春夏コレクション」でも「それぞれの華のとき」をテーマにして色鮮やかな作品60点が登場し

た。「花色の午後」。「優雅な冒険」。「紅色のレディ」等、11のセクションで構成されたショーでは、ペパラム使いや胸もこのV開きと、花の中でも西田さんが最も注目している。バラのプリントが優し



エレガント&フェミニンまるで水彩画のよう

に「いろんなンショ」、雑誌を数多く見て積極的にオシャレになろうとする気持ちを育てて欲しいと語ってくれた。お求めは大丸神戸店「ブティック武生」で。

★魅了した「麗しのサブリナ」

カラフルな色彩と切り切りのいいミニ丈が新鮮な「GIVENCHY」の春夏コレクション。パリ・オートクチュールコレクションで発表された中から、大丸神戸店がセレクトした23点が、2月19日神戸オリエンタルホテル大宴会場で披露された。今シーズンの特徴はストリートで体についたライン、そして鮮やかな花模様。パステル調のボケた感じのものを幾重にパンシシらしく、ヴィヴィッドではっきりとした色で描いた「花束」のドレスは、会場の女性たちの輪を奪った。オード



アクセサリ使いで表情が変わるミニのおしゃれ

リー・ハップバインの衣装を手がけたことでも有名なジャンパシディが、スリムでシンプルでなシルエット、ウエストをほったロングジャケットのクラシックスタイルは銀装での華やかな会合を連想させる。お求めは大丸神戸店で。

★青屋・山村サロンで花の会展

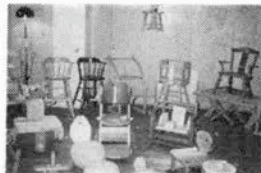
英国式フラワーアレンジメントで定評のある諸侯閣下さん、専正池坊家元」の主催する「花の会展」が、青屋ラポルテのホールと山村サロンをレイアウトして2月11日、12日に開



会場での諸泉さん。会場には、世界中の珍しい花々が美しくゴージャスに、あるいは清楚に生けられて、花の

香りが春らしく漂っていた。3時30分からは約200名の門下生たちが集うパーティー会場に早替り。諸泉さんは「今年は会場を広く使えたので、作品も沢山出品できまして、珍しいお花を色々アレンジでき、充実した花展になったのが嬉しい」とにっこり。

★ちっちゃなイスたちは主張します……



小人の国に行ったガリバーの気分／

くかが問題になってきている。確かに見渡せば、これだけ物が豊富な時代において100%自分の思いを満たしてくるものにはあつたにお目にかかれたいのはなげか。今回「こどものイス展」を企画したインテリアコーディネーターの大西真紀子さんも「単にファッションイメージだけを追った展示会ではなく、本物のライフスタイルを考えていくという一つの提案です。初めての試みとしての形に一番近いイスを選んだわけですが」と話してくれた。楽しい形のベンチから障害児のためのスツールまで並び、子供は勿論のこと、大人にとっても小さくなって自分では座れなくなってしまうイスに、幼い頃のノスタルジーを呼び起こさせてくれる。

白が輝きます。

'88 EARLY SUMMER
COLLECTION



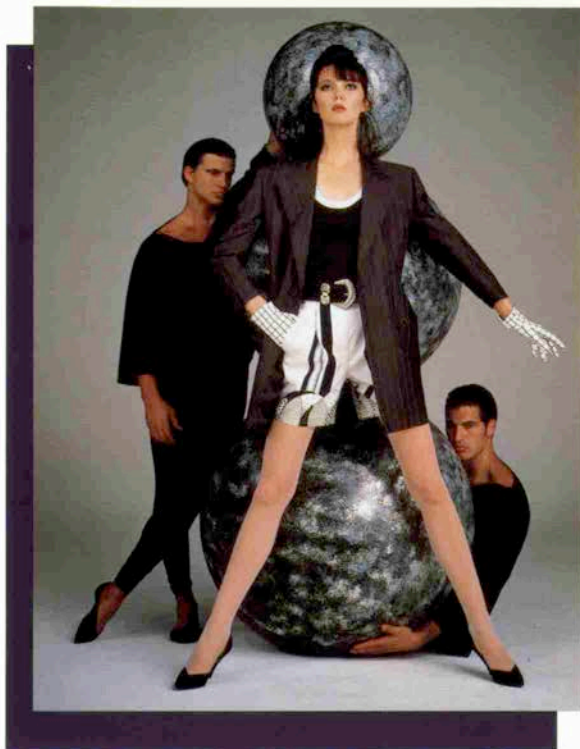
serizawa
KOBE



セリザワカード

お酒落のための
特典いろいろ
1枚のカードから

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL 078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



1946年イタリアのレッジョ・カラブリアに生まれたヴェルサーチは小さい頃から母親のアトリエに興味をもっていた。高校卒業後は頻繁にロンドンやパリへ出かけファッションの世界に足を踏み入れていくことになる。

72年ミラノに移り、数あるブランドの中で、とりわけジェニートカラガンデザイナーとして名を駆せる。75年に初の渡米。彼のファーストコレクションであるコンブリチエのレザーウェアが大成功を修め、彼の名が大きくクロージアアップされるようになる。そして78年からは念願のオリジナルブランド「ジャンニ・ヴェルサーチ」がコレクション

時代を生きる

Gianni Versace

ジャンニ・ヴェルサーチ

ROYAL SALON

BRAND HISTORY ①

時代を創る 服の魔術師



ヨンとして発表される。

その後「オッキオ・ド・オロ」(ゴールド・アイ)賞や「カティサーク」賞を受賞、彼の革新的デザイナーとしての立場は現代モード界で揺るぎないもの

となっている。

■ シンプル & エレガント

今回で20回目を迎えた春夏コレクション“Collezione Primavera e Estate 88”。

今までにない総合的なファッションを創りあげること考慮に入れて発表された。

微妙な感触と活気を得るために女性のもつ神秘性・魅力が考えられ、シンプルでエレガントにクリーンカットされた傾向となっている。ツバキの花がモチーフのプリント地はヴィヴィッドななかにもエレガンスが漂い、今までにない新しい魅力を引きだしている。他にもグレンチェックが基調のものもかなりあり、柄のコーディネートが随分楽しめそうだ。

ボトムはミニスカート(55 cm丈)が多いが、バルーンスカートやキユロットなどリゾート感覚で着られるものも多い。そしてテープがほどこされたオープンカラーやラインの縁どりがアクセントのブラウスなどメンズライクの中にも女性らしさが織り込まれている。

■お買求めはそごう神戸店新館5F・ヴェルサーチ・ブティックで





神戸開港120年記念シリーズ
—近代洋風建築を訪ねて—



第一勧業銀行神戸支店

(旧三井銀行神戸支店)

写真 / 高橋 裕嗣

旧三井銀行神戸支店は日本の近代洋風建築のなかでも最も古典的な名作の一つと言われている。古典とは西欧の造形史にあって、連続として受け継がれてきた一つの精神とでも表現されようか。その意味ではこの建物は最も西洋的ということになるはずである。

ところがこの建物、どこか見覚えのある親しみ、優しさを備えている。どうしてそんな印象を与えるのだろうか。ふと思い当たったのが奈良の唐招提寺。吹き放しの列柱など何処か似ているような気がする。そういえばこの建物の設計者長野宇平治は奈良県の技師をしていた。西欧の建築書の原典まで取り寄せて学んだという彼が、日本の古典から何を見いだしたのだろうか。あるいは、日本の古代は我々が今考えるよりももっとヨーロッパに近かったのかも知れない。



足立 裕司

(神戸大学工学部建築学科講師)

大正5年竣工、鉄骨及び鉄筋コンクリート造り2階建。ルネッサンス様式、6本のイオニア式列柱が印象的な名建築である。設計者は当時最高の名手の一人で、彼の作品の中の代表作であると共に、日本洋風建築最高の出来を示している。

KOBE EXCELLENT SHOP

★世界のオシャレをお届けする

ウネ

KOBE LINE

神戸市中央区元町通2丁目5-9 ☎331-3112

★婦人帽子

マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品 ブティック

アスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御機衣縫上處

神戸シヤリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737-9

※このシリーズは上記8社の専門店
の提供によるものです。



ROMANTIC BREEZE FROM G・SEN



異国の香に誘われて、坂を歩けばひっそりと異人館。そんな神戸の伝統の味、神戸サブレ。



サンサンとかがやく瀬戸の海を静かに見守る六甲の山々。六甲の風はミナト神戸の風味です。



G・SEN CONFECTION CO., LTD.

■本社工場 中央区神若通7 078-241-1101(代)
■布引店 国体道路生田川角 078-241-1105
■三宮店 三宮センター街 078-321-1018



Cake & Coffee
"G"線

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000)

5月号

新連載

〈いきいき TALK〉

三林 京子



〈今月の視点〉

木村 重信

〈うまいもん関西美味発見〉
各界でご活躍の方々の
“とっておきの一軒”を紹介

特集

1. ビッグスポーツ
私のレジャータイム他
2. なら・シルクロード博

■関西百撰会ギャラリー

老舗がお届けする買物情報

■上方味覚紀行

とんぼ 楠本 憲吉

■日本の宝との出会い

★ビッグインタビュー

田中 一光

(なら・シルクロード博アートディレクター)

好評連載企画

■創造の世界

■名医に聞く

精神分裂病(人間関係の病について)
一阪本 健二

■孟さんの新風俗記

■大阪の曲がり角

■程さんのうんちく料理塾

エビ 程 一彦

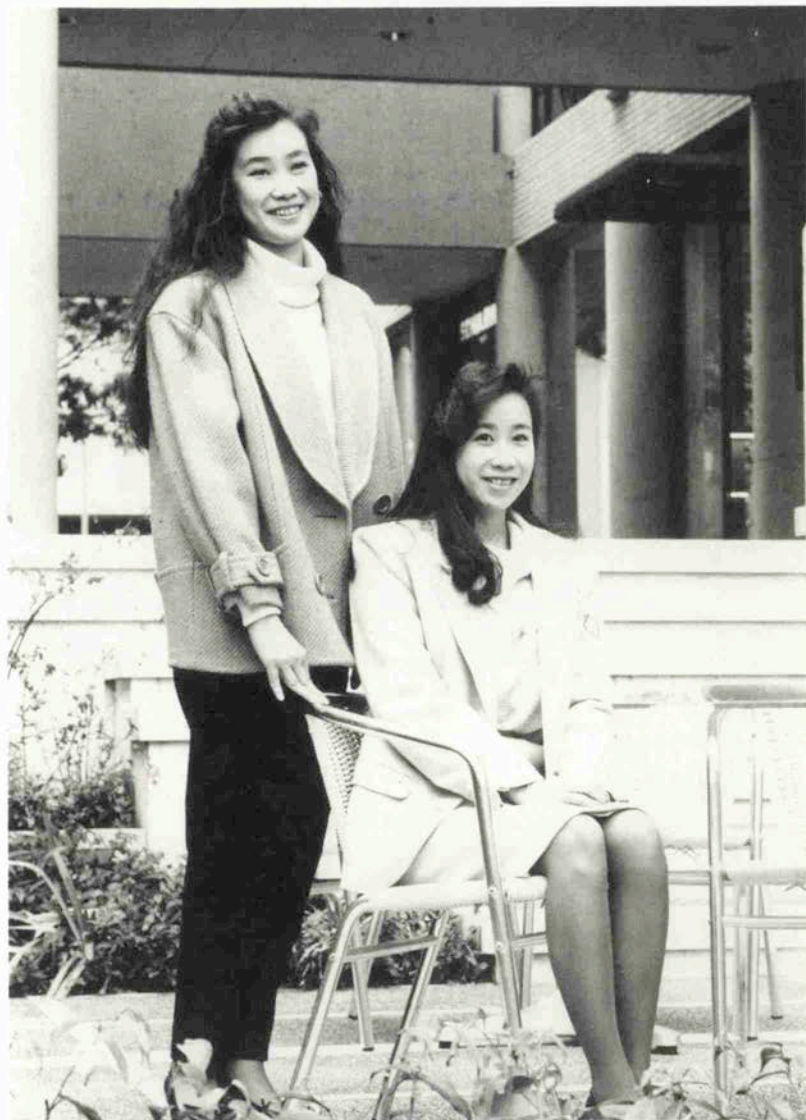
神々の嬢さん

〔65〕

春の光に輝く 優しさと愛らしさ

久保

尚子さん (右) 〔神戸アル専務取締役〕
紀子さん (左) 〔同次女・神戸女学院
大学文学部英文学科3年生〕



ふとこぼれる笑顔に優しさと愛らしさがのぞく。海星小、中、高、大学は英文学科を昨年卒業。現在は華道、茶道、料理そしてスポーツはスキーにテニス。染色にも計画的にじっくり取りくんでられるお姉様の尚子さん。

海星高校から神戸女学院英文学科三回生の紀子さんは昨年八月にはイギリス、イーストボンに滞在、国際感覚も加わってますます輝くばかりのレディです。九十六歳で御健在のお祖母さまや御両親の御慈愛の許で素直で、思いやりのあるお二人です。素敵な人生を歩んで下さい。

推薦者／白石弘子

(染色家)



カメラ 米田定蔵

神戸のお嬢さん 〈64〉

爽やかお嬢さん

神戸に咲く

有澤美紀子さん 〔有澤眼科・有澤武氏長女〕

美紀子さんのフラワーアレンジメントは、もうプロなみの腕前。いつもにこやかに洗練された花を活けていらつしやるのを拝見していると、明るいご家庭で育ちの良さがうかがわれます。

甲南女子大学英文科のご出身で、お料理がお上手。お召物はたいていご自身で

お作りになるとのことです。それだけに雰囲気のあるファッショナブルな洋服をさらりと着こなしておられます。生粋の神戸っ子らしい爽やかなお嬢さんです。若い男性たちの曰く「オヨメさんにしたいタイプNO.1」

推薦者／諸泉頼子

〔専正池坊副家元〕



カメラ 米田定蔵



四季を通じて春の花をまき散らしたようなランジェリーショップ。美しいリバーレースをふんだんに使った下着は、アウターのおしゃれとは一味違った女性の密やかな愉しみです。でも、からだにフィットしない下着をつけている時ほど気分の悪いものはありません。本来、下着の機能とは身体のラインを整え、美しい服を着ることにあるもの。残念ながら日本の女性には「良い下着」を選ぶ目がまだまだ養われていないようです。(株)シャルレの副社長、林宏子さんが出版した「からだ美人の下着学」には、ランジェリーの種類や選び方、つけ方の基礎知識からアウターとのコーディネート学、管理＆収納学と幅広くアドバイスされています。写真、イラスト、科学データを用いた解説は、実にわかりやすく選び方とつけ方によって体型が変わるという嬉しい答えを実証してくれます。AカップがCカップに…なんて、魅力的なお話だと思いませんか。繊細な女性のからだだからこそもっと真面目に、そしてもっとおしゃれになって欲しいと思うのです。



(株)シャルレ副社長
林 宏子さん

からだ美人の下着学

林宏子

講談社

「からだ美人の下着学」は講談社から1,200円で発売中。お求めは、全国有名書店にて。

Fashion Watching ★ PART I

おしゃれの基本 「からだ美人の下着学」

